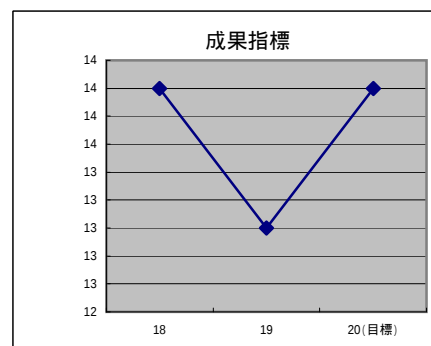
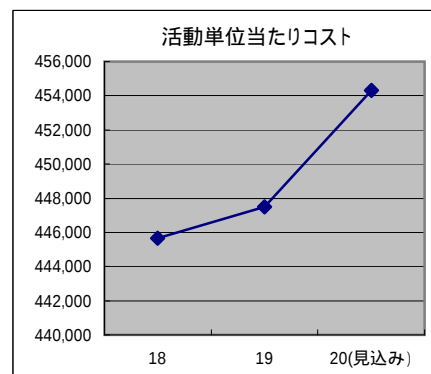


事務事業名		留守家庭児童会事業		会計	1	一般会計	
				款	10	教育費	
総合基本計画	まちづくりの目標(章)	3	次代を担う子どもを育むまち	項	1	教育総務費	
	施策(節)	1	子育て支援	目	3	課外対策費	
	施策の方向	(3)	子どもの居場所づくり	事業	3	留守家庭児童会	
関連する計画等				作成部署	教育委員会事務局学校教育室教育総務課		
				連絡先	072 - 958 - 1111 内線 4520		
事業の目的							
対象(誰を・何を)							
放課後に留守家庭となる児童							
意図(どういう状態にしたいのか)							
放課後の児童の安全確保と集団生活の確立をめざす。							
事業の内容							
平日の午後帰宅しても保護者の保護下に無い1年～3年の児童を対象に、指導員のもと安全確保と集団生活の確立を目標としている。また、保護者からの要望で「おやつ」(個包装のものを配布)を14の留守家庭児童会で実施。0-157対策として、薬用ハンドソープ、消毒剤(ヒビスコール)を使用している。運営時間は、平日の放課後から午後5時まで。長期の休み、創立記念日等で学校が休校の場合は午前9時から午後5時までの運営としている。使用料(月額)として、第1子5,000円、第2子以降2,500円を徴収している。							
根拠法令等 児童福祉法・羽曳野市留守家庭児童会条例							
事業開始時期 ☒ 昭和 ☐ 平成 42 年 月開始 ☐ 明確にはわからない 終了年度 平成 年度							
事業開始時からの状況変化 保護者の共働きにの増加に伴い、入会児童数も増加しており、教室及び指導員の確保が困難になっている。また、平成15年度より、使用料を徴収するようになった。							
市民や議会の要望 平日の開会時間の延長及び土曜日開会の希望が寄せられている。							
実施手法 ☐ 直営 ☒ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 補助金・助成金 ☐ その他()							
委託先		名称		委託内容		警備業務他	
		☒ 民間委託					

区 分		18年度	19年度	20年度
		(実績)	(実績)	(見込み)
事業費【1】 (千円)		4,937	5,388	6,634
人件費【2】 (千円)		103,800	103,800	107,400
職員数	正規職員	2.00 人	2.00 人	2.00 人
	再任用職員	0.00 人	0.00 人	0.00 人
	嘱託職員	28.00 人	28.00 人	28.00 人
	臨時職員	11.00 人	11.00 人	13.00 人
	超過勤務(参考) (時間)	0.00 時間	0.00 時間	0.00 時間
総事業費 (【1】 + 【2】) 【A】 (千円)		108,737	109,188	114,034
財源内訳	国費 (千円)			
	府費 (千円)	13,962	13,962	25,506
	市債 (千円)			
	その他 (手数料・使用料等) (千円)	29,292	30,162	30,820
	一般財源 (千円)	65,483	65,064	57,708
活動指標(事業の活動実績)【B】 単位		18年度	19年度	20年度(目標)
開会日数 日		244	244	251
入会児童数 人		620	624	637
活動単位当たりコスト (【A】 / 【B】)		445,643 円	447,492 円	454,319 円
市民1人当たりコスト (【A】 / 人口)		903 円	910 円	951 円



成果指標	指標名		指標設定の考え方		平成18年度	平成19年度	平成20年度
	待機児童“0”教室数(室)	(式)	待機児童“0”教室を目標とする。	目標	14	14	達成率(%)
				実績	14	13	92.9%
	(式)			目標			達成率(%)
				実績			

